



 **PRESTIGE** INTERNATIONAL

FINANCIAL REPORT 2020

2019/4/1 → 2020/3/31 証券コード:4290





新しい時代での 成長の礎

ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社グループの第34期(2019年4月1日から

2020年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

第34期は、秋田BPO横手キャンパスの竣工とともに幕開けし、初進出となる新潟県魚沼市に仮センターを開設、そして来期に向け山形BPOパークの建設工事開始といった当社の魅力である地方都市での拠点開拓を通じ、さらなる業務規模拡大を図ることに尽力した1年となりました。一方で当社のグループ会社である株式会社プレミア・ケアの

コンプライアンスにおける課題の発覚により、株主の皆様にはご心配、ご迷惑をお掛けする事態となりましたことをお詫び申し上げます。今後はガバナンス、コンプライアンス体制をより強化するとともに、当社の掲げる社会貢献事業のひとつとして透明性の高い経営を実践してまいります。

当社グループの2020年3月期における業績については連結売上高に関しては、42,377百万円(前期比13.9%増)となりました。営業利益につきましては、課題の生じたプロ

グラムはあったものの、主要プログラムと現場対応の安定稼働によりカバーし、4,959百万円(前期比5.8%増)となりました。経常利益につきましては、持分法による投資利益156百万円の計上等により5,364百万円(前期比8.9%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、3,193百万円(前期比0.2%増)となっております。

中期経営計画HOP3:最終年度に向けて

当社グループは2018年6月に2019年3月期から2021年3月期までの3年間にわたり、指針となる「**継続的・安定的な成長**」、「**PIでしか実現できないサービスの創造**」、「**地方都市での雇用の創造・継続**」、「**女性の雇用機会の創造**」を主軸とした中期経営計画の策定をしております。最終年度を迎える来期は、新型コロナウイルス感染症による影響等により、計画の前提条件が大きく変化する事態が生じました。来期は困難な状況下において、新たな経営体制を構築する重要な期と捉え、本社機能の地方移管、クライアント企業のBCPニーズの獲得、地方都市での雇用の創造・維持、IT投資等の継続による効率化といった取り組みを通し「**継続的・安定的な成長**」を図ってまいります。

「PIでしか実現できないサービスの創造」においては、2020年5月には当社事業の強みである株式会社プレミアアシストが現場対応グループ専用の研修施設「富山トレー

ニングフィールド」を開設いたしました。当社ビジネスの成長ドライバーであるロードアシスト事業のネットワーク強化、今後の成長が期待されるプロパティアシスト事業の高品質なサービス提供の維持など、現場対応のより強固な安定稼働に向け活用してまいります。

「地方都市での雇用の創造・継続」および「女性の雇用機会の創造」という観点においては、地方BPO拠点での積極的な採用活動を継続して行うと同時に、女性管理職の割合を50%に引き上げることを目標とし、従業員がやりがいを持って生き生きと働くことができる環境づくりに尽力してまいります。また、2021年度よりアランマーレ女子バスケットボールチーム(秋田)が、東北地域から唯一Wリーグへ参戦することが決定いたしました。今後ますます地域を盛り上げる存在として活動してまいります。

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により不透明な要素も多くある状況ではございますが、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、当社グループの役員・従業員一丸となってこの難局を乗り越えるべく邁進してまいります。今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 玉上 進一

新型コロナウイルス感染症に関する 当社グループの対応について

この度の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた皆様にお悔やみ申し上げますとともに、罹患された皆様にお見舞い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の動向が不透明な状況ではございますが、グループ業績については、国内外の経済活動、個人消費の低迷によるオペレーションのボリュームや現場対応件数の減少、クライアント企業の業績の見通しが不透明により新規案件等の獲得が遅れるという影響が出ております。

かかる状況を踏まえ、今後の対策として以下の4つを掲げております。

1. 本社機能の地方移管

首都圏における「緊急事態宣言」の要請を受け、本社機能の行動が抑制されました。一方でBPO拠点のある地方都市においては雇患者が比較的少なく、事業の継続を維持することが出来ました。そこで、本社機能(マーケティング、管理業務)をBPO拠点に移管、より安定的な経営基盤と新規事業創造を目指します。

2. クライアント企業のBCP(事業継続計画)ニーズの獲得

大都市圏で運営されているコンタクトセンター機能について一部機能が制限され、地方都市でのバックアップ運用に対するニーズが高まっているため、BCPニーズの獲得を目指します。

3. 優秀な人財の獲得

地方都市においては、特にインバウンド関連産業に打撃が生じることが懸念されます。「地方都市での雇用の創造・維持」の地方貢献方針に基づき、流動化する人財の受け皿として、地域経済の一員としての役割を果たしてまいります。

4. 効率化の推進

当社グループとしての対策を講ずる中で、テレワーク等の新しい働き方の発見がありました。効率化に資するIT投資を継続し、「新しい働き方」を共有できるワークスタイルを構築してまいります。

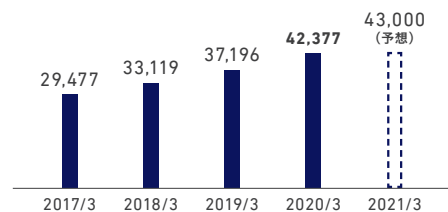
この課題を契機に、既存観念にとらわれることなく「0リセット」で、様々な業務改善、新規事業開発、成長分野への深耕に取り組んでいく方針です。

株主の皆様には、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

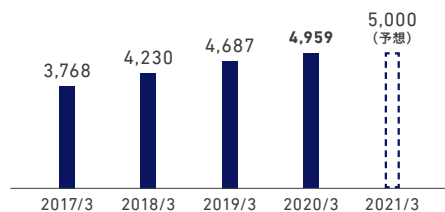
▶ 財務 / 非財務情報

財務パフォーマンス

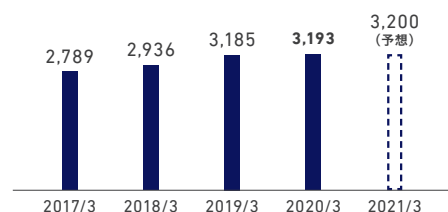
売上高(百万円)



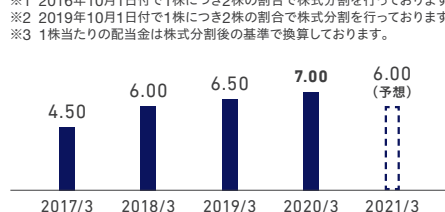
営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



1株当たり配当金(円)



※1 2016年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 ※2 2019年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
 ※3 1株当たりの配当金は株式分割後の基準で換算しております。

当期のポイント

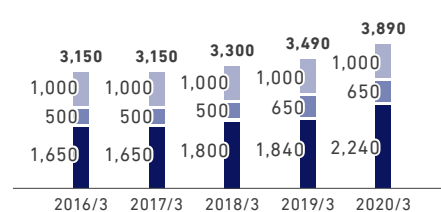
連結売上高に関しては、42,377百万円(前期比13.9%増)となりました。営業利益につきましては、課題の生じたプログラムは発生したものの、主要プログラムと現場対応の安定稼働によりカバーし、4,959百万円(前期比5.8%増)となりました。経常利益につきましては、持分法による投資利益156百万円の計上等により5,364百万円(前期比8.9%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、3,193百万円(前期比0.2%増)となっております。

2020年3月期中期経営計画に基づき、「継続的・安定的な成長」「プレステージ・インターナショナルでしか実現できないサービスの創造」を骨子とした取り組みをグループ全体として実行していくため、責任と権限を明確にし、より果敢かつ迅速な意思決定と実行が重要な状況となっております。

2021年3月期は中期経営計画の最終年度となります。新型コロナウイルス感染症の影響は中期経営計画の前提に大きな影響を与えるものとなる想定しており、当社といたしましては、必要な施策の実行、成長に向けた投資の継続を行い、新しい時代に必要とされるサービスを開発し、地域の雇用を創造・維持していく方針であります。このタイミングを機会とし、より強い経営基盤を構築し、新たな成長戦略を実践していく方針です。

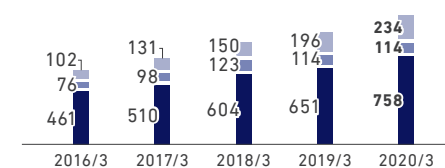
非財務パフォーマンス

BPO席数(席) ■秋田 ■山形 ■富山

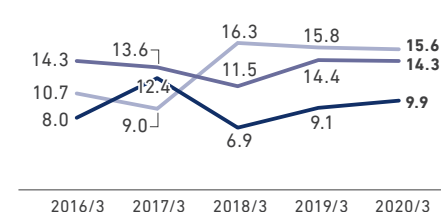


フィールド手配件数(千件) ■PR ■PH ■PP

当社連結子会社である株式会社プレミアアシストの現場対応のPREMIER Assistによる、それぞれの事業の略称となります。PR…ロードアシスト PH…ホームアシスト PP…パークアシスト



BPO拠点離職率(%) ■秋田 ■山形 ■富山



当期のポイント

2019年度を振り返ると、4月の秋田BPO横手キャンパス(500席)開設に始まり、10月には新潟県魚沼市に仮センター(50席)を開設するなど、当社の受注能力を一段と伸ばしました。秋田BPO横手キャンパスにおいては、3月末時点で500席の設備に対し250名を越える従業員が在籍し、退職率も10%以下に留めるなど順調に運営しております。他拠点においても、積極的な採用活動、人材育成、快適な職場環境づくり等の退職抑制施策を講じるといった高品質なサービス提供に向けたBPO経営に取り組んでおります。また新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、当社では地方拠点の相互的なバックアップ体制の強みを活かしたBCP対策を講じ、継続的なサービス提供に努めております。今後益々期待される地方都市でのBPO運営に際し「地方都市の雇用の創造・維持」の地域貢献方針に基づき、優秀な人材獲得を推進してまいります。

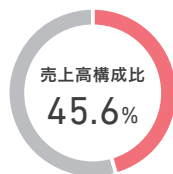
フィールド手配件数は、ロードアシスト、パークアシスト共に増加しております。ホームアシストについては、全体件数でみると横ばいですが2019年度より注力している分譲案件においては手配件数を着実に伸ばしております。また2020年5月にPREMIER Assistブランドの更なる価値向上を目指し、「富山トレーニングフィールド」(※詳細は7ページを参照)を開いたしました。ネットワークの拡充を図る上で、ハイレベルなサービスが提供できるよう活用してまいります。

これからも従業員一人一人が最高のパフォーマンスができる職場環境づくりに努め、PIにしかできないサービスを提供してまいります。

▶ 事業概況



ロードアシスト事業
Roadside Assistance



売上高	193億44百万円	前期比	24.8%増
営業利益	22億00百万円	前期比	21.7%増

決算のポイント

- 損害保険会社向けサービスの新規クライアントの獲得と自動車メーカー向けサービスの高い需要を取り込んだことにより、増収
- オペレーションと現場対応グループ会社の安定的な稼働により、増益



プロパティアシスト事業
Property Assistance



売上高	55億00百万円	前期比	11.0%増
営業利益	5億50百万円	前期比	7.8%減

決算のポイント

- 既存クライアントの堅調な成長により、増収
- 新センター稼働に向けた採用、教育の費用等が先行したことにより、減益



インシュアランスBPO事業
Insurance BPO



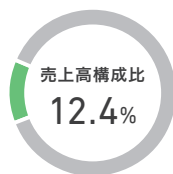
売上高	44億95百万円	前期比	9.0%増
営業利益	4億68百万円	前期比	18.8%減

決算のポイント

- 海外駐在員向けサービス(ヘルスケアプログラム)の新規クライアント獲得及び会員数の堅調な増加により、増収
- 海外拠点開設の先行コスト、海外旅行保険の取り扱いの減少があり、減益



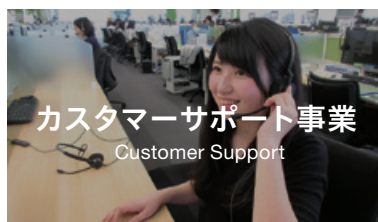
ワランティ事業
Warranty



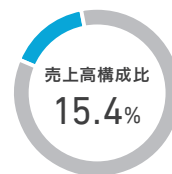
売上高	52億52百万円	前期比	11.1%増
営業利益	11億30百万円	前期比	27.3%増

決算のポイント

- 家賃保証プログラム及び自動車延長保証が堅調に推移し、増収
- 家賃保証プログラムの堅調が牽引し、増益



カスタマーサポート事業
Customer Support



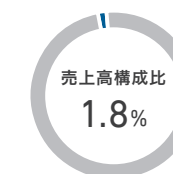
売上高	65億42百万円	前期比	1.5%増
営業利益	9億34百万円	前期比	14.7%増

決算のポイント

- 既存受託業務が堅調により、増収
- 前期課題であったプログラムの課題解消が寄与し、増益

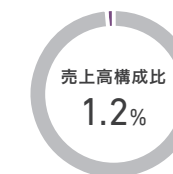
ITソリューション事業
IT Solutions

売上高	7億49百万円	前期比	19.5%増
営業利益	1億90百万円	前期比	60.6%増



派遣・その他事業
Temporary Worker/Other

売上高	4億92百万円	前期比	39.5%減
営業損失	5億19百万円	前期比	341.8%減



▶ 事業概況

事業セグメント再編成 クライアントサクセスの強化でリテンション戦略の推進

プレステージ・インターナショナルグループでは、2020年4月より、事業セグメントの再編を行い、オートモーティブ・プロパティ・グローバル・カスタマー・総合保証・IT・ソーシャルの7つの事業セグメントといたしました。当社では中期経営計画で「リテンション・メーカー」をテーマに掲げており、当社が提供するサービス種別による従来の事業セグメントの区分から、マーケット別による事業セグメントに再編することで、リテンション・メーカー戦略による進捗を明確に示すことを目的としています。

ソーシャル事業は、バスケットボール(秋田)・バレーボール(山形)・ハンドボール(富山)の女子スポーツチーム「アランマーレ」、保育園「オレンジリー」、通所介護・発達障害児童支援・放課後等デイサービス「プレミア・ケア」、地域振興投資で構成しています。当社にとって社会貢献事業を重要かつポテンシャルの高い事業と位置づけ、主体的に事業を展開するために新設いたしました。



※ 発達障害児童支援・放課後等デイサービス

▶ ガバナンス

新社外取締役



社外取締役 服部 義一

株式会社プレステージ・インターナショナルは「消費者の不便さや困ったことに耳を傾け、解決に導く」という経営理念のもと、常に時代の変化に対応しながら革新的なサービスを提供されています。この度、社外取締役に選任いただきましたことを光栄に思うとともに、これから迎える新時代での成長に向けてお手伝いできることをとても楽しみにしております。

私が代表を務める株式会社ルートワン・パワーでは、新しい時代を作る支援事業を行っております。例えば、まだ「YouTuber」という言葉も浸透していなかった2017年、当時創業から4年でUUUM株式会社をマザーズに上場させるなど、ライフスタイルに新たな“POWER”を与える事業に対し様々な角度からサポートさせていただいております。私は常識にとらわれず、各分野の起業家のビジョンを理解した上で、資金以外にも欠けている「ピース」を探し出し、それを埋めることでイノベーションを実現させることが使命だと考えています。

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るう今、私たちは大きな転換期を迎えております。こんな時代だからこそ、企業が継続的かつ安定的な成長を遂げるには、これまでの常識を取り払ったイノベーション創出が「ピース」のひとつではないかと考えます。社外取締役として、これまで培った経験がプレステージ・インターナショナルの発展に貢献できればと願っております。また、株主の皆様をはじめとするステークホルダーのために企業価値の持続的な増大に貢献できるよう尽力してまいります。

新女性活躍推進プロジェクト担当役員



女性活躍推進担当 大坂 有紀

「女性が結婚や出産を経ても働きやすい会社」という会社のあり方に魅力を感じ、2008年に契約社員として入社しました。入社後はオペレーター業務に従事し、正社員登用、結婚と2度の出産を経験し、現在は管理者としては初めてとなる育児短時間勤務制度を利用しながら「マネージャー」かつ「2児の母」として毎日奮闘中です。

当社は産休や育休を取得し、なおかつ時短勤務等を利用して仕事を継続している女性従業員が多く、ライフステージに変化が多い女性にとってはとても恵まれた職場だと思っています。私も出産を経験し、働くお母さんに対して制度が十分に整っていると身をもって感じる事ができました。その反面、全従業員の女性の割合が約70%なのに対し、女性管理職の割合が約30%と、女性管理者が少ないのが実情であり、課題であると認識しています。

女性が働きやすい環境を整えるため女性活躍推進プロジェクトが一昨年発足しました。管理者比率30%から50%へ引き上げることを3年目標として様々な阻害要因を調べ「女性活躍」に関する環境の醸成に励んできました。「女性活躍推進プロジェクト」の認知度を広める地道な活動から始まり、2年目に入って様々な取り組みができるような環境が整ってきています。

最終目標である今年度は達成に向けて、女性の個性と能力が発揮できるような新たな制度や取り組みを導入し、「誰もが活躍できる職場環境の実現」を目指します。

株式会社プレミアアシスト
富山トレーニングフィールド開設



座学教室



宿泊施設(個室)



宿泊施設(フリースペース)

「PREMIER Assist」ブランドの高品質なサービスをサポート

ロードアシスト事業・ホームアシスト事業・パークアシスト事業の現場対応を行う「PREMIER Assist」ブランドを展開する株式会社プレミアアシストは、富山トレーニングフィールドを開設し、5月より運営を開始いたしました。

富山トレーニングフィールドでは、新人研修・座学・実地研修・OJTの各種研修を受けることができ、宿泊施設を設けたことにより、効率的・集中的に研修を行うことができます。

プレミアアシストは、全国に約500名の現場対応グルー

プを擁し、2018年からはロードサービス事業におけるフランチャイズの展開を行っています。全国各地のロードサービス提携協力会社に対しても多彩な研修メニューを用意しており、ブランドの高品質で均一なサービスを提供できるようサポートいたします。

まずはロードアシスト事業において研修をスタートし、今後ホームアシスト事業・パークアシスト事業の研修にも利用していく予定です。

施設概要

呼 称	富山トレーニングフィールド
所 在 地	富山県射水市池多285番地9 (富山BPOタウン隣接地)
敷 地 面 積	9,987m ²
延 床 面 積	約3,057m ²
投 資 総 額	約8億円
キャパシティ	宿泊施設:最大20名まで宿泊可能 研修施設:最大30名まで研修可能
構 成 設 備	研修施設、トレーニングルーム、会議室、 宿泊施設、大浴場など
サービス開始	2020年5月

秋田BPOにかほキャンパス新設



コンセプト「NIKAHO Terrace／島風」

にかほ市象潟地区にある九十九島をイメージしたテラスを中心に広がる執務空間と、柔らかなカーブを描いた1つの交流空間。当社と地域の皆様との出会いが、にかほを動かす原動力を生み出します。



カフェテリア



中庭

執務室

にかほの風土に根ざした建築デザイン

鳥海山と、その噴火によってできた無数の島の景(流山)を背景に山並み、島並み、そして屋根並みが作りだす風景を生み出します。連続する屋根並みの下には、みんなが集う出会いのテラスが広がります。

2020年3月末現在、秋田BPOメインキャンパス(秋田市／2003年開設)と、にかほランチ(にかほ市／2014年開設)は併せて約1,700名体制で稼働しております。既存業務が拡大したことにより、2019年4月には3拠点目となる秋田BPO横手キャンパス(横手市)が無事に開設いたしました。さらなる受注能力を伸ばすべく、現在2カ所にあり、パフォーマンスが好調にかほランチを統合し、2022年3月に秋田BPOにかほキャンパスの新設を目指します。

施設概要

呼 称	秋田BPOにかほキャンパス	カフェテリア、 トレーニングスタジオ、 リフレッシュルーム、 研修室、UPS、 自家発電機
所 在 地	秋田県にかほ市	構成設備
敷地面積	約26,000m ²	投資総額
投資総額	約20億円	座 席 数
座 席 数	500席	操業開始
		2022年3月(予定)

山形BPOパーク 建設進捗状況

建設業者協力のもと、新型コロナウイルスの感染予防対策を万全にし、2021年3月の開設に向け順調に建設を進めております。今後は、地域の皆様にも活用していただける施設を目指し、地域交流イベント等も企画してまいります。



地域と共に成長する女子スポーツチーム



「地域を元気にしたい」「女性の活躍を応援したい」という思いから、
地域に親しみのある競技で女子スポーツチームを設立しました。

2015年度設立

秋田女子バスケットボール

2018年度より地域リーグへ参戦中。2021年度より、設立以来の目標であったWリーグへの参戦が決定いたしました。



「2021-22シーズンからのWリーグ参戦決定」

この度、Wリーグ入会審査が承認され、第23回Wリーグ(2021-22シーズン)より参戦することが決定いたしました。チーム設立以来掲げてきた目標であったWリーグへの入会は、東北からは唯一の参加となり、Wリーグとしても17年ぶりの新規参入となります。また、今回の決定により、すべてのアランマーレのチームがトップリーグへ参戦することになりました。今後もより一層皆様から応援していただけるような「地域に根付いた」チームを目指し、活動してまいります。

2015年度設立

山形女子バレーボール

2018年度のリーグ改革により、V.LEAGUE DIVISION2 WOMENへ参戦中。V1リーグへの昇格を目指します。



「柳沢選手がブロック賞を受賞」

2019-20 V.LEAGUE DIVISION2 WOMENにおいて、柳沢紫子選手がブロック賞を受賞しました。前回2位からランクアップし、念願の1位獲得となります。また、チームとしては5位(8チーム中)の成績となりましたが、過去最多のホームゲーム観客動員数を記録するなど、地域イベントとして大きく盛り上がりました。

2016年度設立

富山女子ハンドボール

2017年度より日本ハンドボールリーグへ参戦中。上位4チームにより行われるプレーオフ進出を目指します。



「自己最高順位を獲得」

日本ハンドボールリーグ参戦3年目となる2019-20シーズンは、自己最高の6位(9チーム中)という成績を残すことができました。また、最優秀新人賞を飯塚美沙希選手が、7mスロー阻止率賞を安田絢恵選手が獲得するなど、選手個人での活躍も見られ、チームとしての成長を実感するシーズンとなりました。

健康経営

Health and Productivity Management

プレステージ・インターナショナルグループの「健康経営」に対する想い

当社の経営の根幹は「人」によるサービスであり、「人でしかできない」サービスを支えるのは従業員=人財です。従業員が生き生きと働くためには、本人やご家族の健康が最も重要であると考えます。

また、当社だけの健康経営にとどまらず、コンタクトセンター業務を展開するBPO拠点地域への健康普及活動にも取り組んでまいります。当社は地域の皆様とのつながりを大切に、「地方創生」を重要な戦略のひとつとして掲げています。健康づくりにおいても、地域の方々と共に取り組める活動を展開し、地域に愛される企業として成長してまいります。

健康経営サイトを開設

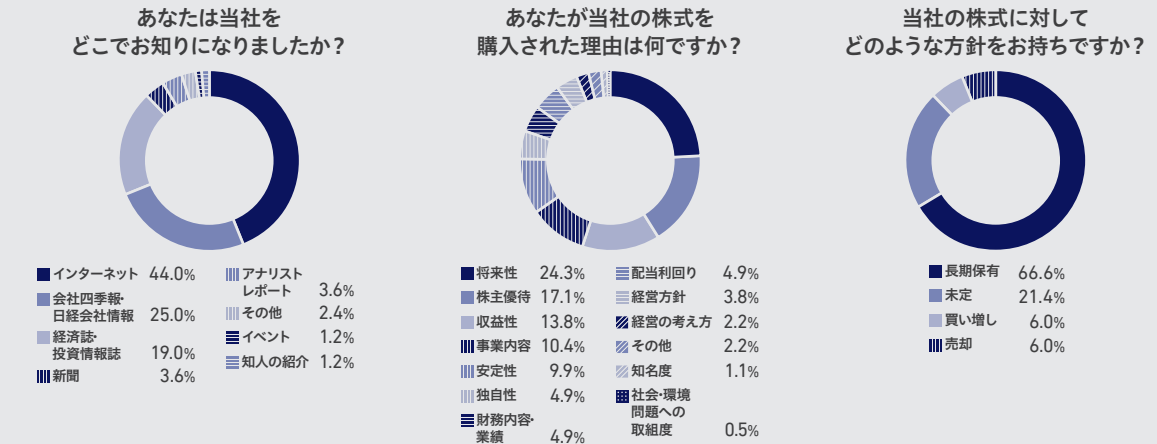
当社では「健康経営」サイトを開設いたしました。当社の方針や、社内での取り組み、地域での取り組みを紹介しています。当社サイトも是非ご参照ください。



「健康経営」サイト



アンケート結果



株主の皆様からいただいたお声 (一部抜粋)



40代、男性、会社員

配当の増額をお願いしたい。

配当に関しましては、安定的・継続的に実施する基本方針に基づき事業運営に必要なキャッシュ・ポジション、成長に必要な投資、当社グループを取り巻く経営環境を判断し、決定をしております。事業領域の拡大に伴い、株式分割を交え8期連続の増配を実施しておりますが、今後とも基本方針に則り株主の皆様のご期待に沿いたいと考えております。



60代、男性、自営業

株主優待のバリュースターモールのクーポンはよくない。クオカードなりギフトなり、追加の費用なしにそのまま単純にもらえるものがよい。欲しいものも見当たらないし、探すのも面倒。

株主の皆様から同様のご指摘を多くいただいております。未だ皆様に満足いただける状態になっておりませんこと認識しております。個人投資家の皆様から株主優待制度導入の強い要請がある一方で、機関投資家、海外投資家からは過度な費用を費やす制度には否定的な意見があります。バリュースターモールの商品は当社グループにて運営しておりますので実質的に費用負担はなく、個人の株主様には概ね2,000円相当の割引クーポンをお渡ししております。モールの商品ラインナップを皆様が楽しんでご利用いただけるよう充実することが重要と考えており、引き続き取り組んでまいります。



40代、男性、会社員

地方での雇用を増やす御社の取り組みは社会的にとっても意義のあることだと思います。時代にあった柔軟な雇用システムを取り入れて人財の確保に努めてもらいたい。

地方都市での雇用の創造・継続は、当社グループが掲げる地域貢献方針の重要な要素となります。そのような中で新たに設置した秋田県横手市、新潟県魚沼市にて積極的に雇用創造を行い、継続しております。女性従業員の多い職場特性であることから、女性活躍推進プロジェクトを立ち上げ、制度改正や健康経営への取り組みに加え、女性管理職の目標設定等を進めております。

会社概要 (2020年3月31日現在)

会社名	株式会社プレステージ・インターナショナル Prestige International Inc.
設立	1986年10月
資本金	14億9,495万円
本社所在地	〒102-0083 東京都千代田区麹町二丁目4番地1
事業内容	ビジネス・プロセス・アウトソーシング
従業員数	3,948名(連結)
拠点	世界18カ国22拠点
URL	http://www.prestigein.com/

会社役員 (2020年7月30日現在)

代表取締役	玉上 進一
取締役	関根 浩
取締役	大坂 有紀
取締役(社外)	岩瀬 香奈子
取締役(社外)	服部 義一
監査役(常勤)	石野 豊
監査役(常勤)	一條 和幸
監査役(社外)	神門 いづみ
監査役(社外)	原 勝彦

株式の状況 (2020年6月10日現在)

発行可能株式総数	427,008,000株
発行済株式総数	128,036,200株
株主数	2,919名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社タマガミインターナショナル	33,848,800	26.44
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント (常任代理人ゴールドマン・サックス証券株式会社)	17,743,589	13.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	11,493,800	8.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,531,400	5.88
玉上 進一	3,468,700	2.71
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カスタディ業務部)	3,143,575	2.46
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE UKDU UCITS CLIENTS NON LENDING 10 PCT TREATY ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カスタディ業務部)	2,155,100	1.68
ザバンク オブ ニューヨーク・ジャスディック トリーティー アカウント (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1,978,400	1.55
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103 (常任代理人 香港上海銀行東京支店 カスタディ業務部)	1,851,567	1.45
ジェーピー モルガンバンクグループエスエイ 380578 (株式会社みずほ銀行決済営業部)	1,644,900	1.28

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月 ※2020年は7月
上記基準日	3月31日 ※2020年は6月10日 その他臨時に必要な場合には、 あらかじめ公告いたします。
配当金受領	期末配当 3月31日
株主確定日	中間配当 9月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 諸手続きに関しましては、みずほ信託銀行株式会社の ホームページをご参照の上、行っていただきますよう お願いいたします。
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 0120-288-324(フリーダイヤル) (ご利用時間 9:00~17:00 土・日・休日を除く)
公告掲載方法	電子公告

ネットワーク (2020年3月31日現在)



グループ会社

国内

株式会社プレステージ・コアソリューション
株式会社プレステージ・グローバルソリューション
株式会社プレステージ・ヒューマンソリューション
タイム・コマース株式会社
株式会社プレミアアシスト
株式会社プレミアアシスト・ネットワーク
株式会社プレミアライフ
株式会社イントラスト
株式会社プレミアIT&プロセスマネジメント
株式会社プレミア・クロスバリュー
株式会社プレミアアウト・ネットワーク
株式会社プレミア・ケア
株式会社プレミアビジネステクノロジー
株式会社プレミア・エイド
株式会社プレミア・インシュアランスパートナーズ
株式会社プレミア・インシュアランスソリューションズ
株式会社PI-EISインシュアランステクノロジー

米州・欧州

Prestige International USA, Inc.
Prestige International U.K. Ltd.
PRESTIGE INTERNACIONAL
DO BRASIL LTDA.
PRESTIGE INTERNACIONAL
MEXICO LTDA

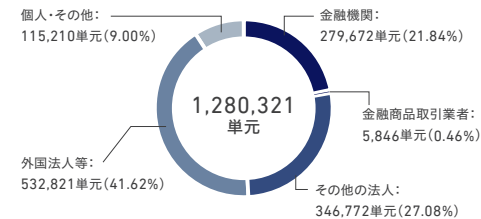
アジア・オセアニア

Prestige International (S) Pte Ltd.
P.I. PHILIPPINES, INC.
JAPANESE HELP DESK INC.
PRESTIGE INTERNATIONAL CHINA CO., LTD.
PRESTIGE INTERNATIONAL
(THAILAND) CO., LTD.
Prestige International (HK) Co., Limited
Prestige International (Taiwan) Co., Limited
PRESTIGE INTERNATIONAL
AUSTRALIA PTY LTD.
P.I. PRESTIGE INTERNATIONAL INDIA
PRIVATE LIMITED
JHD MED-AID INC.
P.I. PRESTIGE INTERNATIONAL
(CAMBODIA) CO., LTD
P.I. MYANMAR PTE LIMITED
PRESTIGE INTERNATIONAL (M)
SDN. BHD.

関連会社

株式会社プライムアシスタンス
(SOMPOホールディングス株式会社
とのジョイントベンチャー)
株式会社ファーストリビングアシスタンス
(野村不動産ホールディングス株式会社
とのジョイントベンチャー)

所有者別株式分布状況 (2020年6月10日現在)



ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行でお支払いいたします。